

「デジタル地図案内板」の概要

1. 特長

光ファイバでネットワーク化したデジタル地図案内板を、歩行者の多い公道上に設置し、地図やグルメ情報など、街を訪れる方々に役立つ情報を提供
日中でもクリアな映像を映し出せる高輝度パネルを採用
地図画面には、利用者が直接手を触れて検索できる「タッチパネル」を採用
バリアフリーに対応した識別しやすい明度・色の組合せの地図を使用
景観、バリアフリーに配慮したデザインを採用

2. 提供する情報

情報画面

- ・ 渋谷のエリアニュース、天気予報、時報などの最新情報
- ・ 街のトレンド情報（最新のグルメ・ファッション・映画・音楽情報など）
- ・ 広告
- ・ 自治体による広報情報
- ・ 災害時における自治体からの緊急情報

地図画面

- ・ 4カ国語対応地図（日本語、英語、中国語、韓国語）
- ・ 地図の拡大、縮小などが可能
- ・ 目的地検索が可能（公共施設、飲食店、映画館、劇場・ホール、美術館・博物館、ATM、コンビニ、トイレなど）

携帯電話との情報連携

- （QRコード*1、非接触ICカード*2を利用）
- ・ 目的地検索結果の案内ルートを携帯電話に転送
 - ・ 飲食店のクーポン、映画情報などの取得

3. サービス時間

9:00～24:00

車イスをご利用の方も使いやすいように足下スペースを空けるとともに、引き寄せるためのバーを設置



以上

* 1 QRコード

二次元コードの一種。従来のバーコード（一次元）と異なり、縦・横の両方向に情報を持つことにより、大量の情報を扱うことができる。携帯電話のwebサイトアドレス読み取り機能などに利用されている。

* 2 非接触ICカード

カードの内部にアンテナが内蔵されており、外部の端末が発信する弱い電波を利用して、接触させずにデータを送受信するICカード。最近では、携帯電話などにも搭載されている。